

○日野町営土地改良事業の経費の賦課基準及びその徴収の時期方法

本郷井手改修工事

事業費の20%相当額の経費を受益者に賦課。徴収の時期は平成25年3月31日まで。

○日野町過疎地域自立促進計画の変更

日野町過疎地域自立促進計画に地域防災計画策定を追加

○印は、賛成者
×印は、反対者

採決の状況 一覧表

議案番号	議案名	竹永明文	中原明	佐々木求	安達幸博	小谷博徳	中原直人	松原利秋	松本利秋	梅林智子
08	日野町公舎改修基金条例制定	○	×	○	○	○	○	○	○	×
09	平成23年度日野町一般会計補正	○	×	○	○	○	○	○	○	○
19	日野町総合計画審議会設置条例の廃止	○	×	○	○	○	○	○	○	○
26	平成24年度日野町一般会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○
10	平成23年度国民健康保険会計補正									
11	平成23年度介護保険会計補正									
12	平成23年度公共下水道事業会計補正									
13	平成23年度農業集落排水事業会計補正									
14	日野町営駐車場条例の一部改正									
15	町長、教育長の給与の特例条例									
16	日野町職員等の旅費条例一部改正									
17	日野町特別医療費助成条例一部改正									
18	日野町介護保険条例の一部改正									
20	日野町小集落改良住宅の条例一部改正									
21	日野町と鳥取県の職員研修規約の変更									
22	日野町営駐車場の指定管理の指定									
23	日野町林業総合センターの指定管理									
24	土地改良事業の賦課基準、徴収方法									
25	日野町過疎地域自立促進計画の変更									
27	平成24年度日野町国民健康保険会計									
28	平成24年度日野町介護保険会計									
29	平成24年度日野町後期高齢者医療会計									
30	平成24年度日野町簡易水道会計									
31	平成24年度日野町公共下水道会計									
32	平成24年度日野町農業集落排水会計									
33	日野町議会議員政治倫理条例の一部改正									

※佐々木秀明議員は議長のため採決に加わっていません

全員賛成で可決しました。

しかしながら、町の基本構想、基本計画、実施計画は必要の観点から、町村の裁量で議決事項を定めることができ

る地方自治法第96条第2項の規定により、総合計画を議決すべき事項に対する条例の制定を議員発議で提案しました。

第1条に趣旨を、第2条には日野町の基本構想などの議決事件について、第3条には、その他として、各種計画など

の報告義務を定めています。



拡幅される町道天王線

全員賛成で可決しました。

道路幅が狭く危険な通学路ですが、道路に隣接する福田氏から土地、家屋の寄付をいただきましたので、家屋を解体撤去し道路を拡幅します。

道路維持費 1169万円
(解体撤去費) 290万円

平成24年2月20日、第2回臨時会を開催し、一般会計補正予算1件と議員発議による条例の制定1件を原案どおり可決しました。

臨時会

地方自治法の改正により市町村の策定する総合計画は、議会の議決事項で無くなりました。

しかししながら、町の基本構想、基本計画、実施計画は必要の観点から、町村の裁量で議決事項を定めることができます。

根雨神社横の町道天王線は、道路幅が狭く危険な通学路ですが、道路に隣接する福田氏から土地、家屋の寄付をいただきましたので、家屋を解体撤去し道路を拡幅します。



改修される本郷井手（下菅地区）

するものです。

○日野町と鳥取県との間の職員の研修に関する事務の委託に関する規約の変更

職員研修を県が行うことになつたことによる経費の面での一部変更。その他の文言の整理。

○日野町営土地改良事業の経費の賦課基準及びその徴収の時期方法

採決の状況 一覧表

議案番号	議案名	竹永明文	中原明	佐々木求	安達幸博	小谷博徳	中原直人	松原利秋	松本利秋	梅林智子
08	日野町公舎改修基金条例制定	○	×	○	○	○	○	○	○	×
09	平成23年度日野町一般会計補正	○	×	○	○	○	○	○	○	○
19	日野町総合計画審議会設置条例の廃止	○	×	○	○	○	○	○	○	○
26	平成24年度日野町一般会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○
10	平成23年度国民健康保険会計補正									
11	平成23年度介護保険会計補正									
12	平成23年度公共下水道事業会計補正									
13	平成23年度農業集落排水事業会計補正									
14	日野町営駐車場条例の一部改正									
15	町長、教育長の給与の特例条例									
16	日野町職員等の旅費条例一部改正									
17	日野町特別医療費助成条例一部改正									
18	日野町介護保険条例の一部改正									
20	日野町小集落改良住宅の条例一部改正									
21	日野町と鳥取県の職員研修規約の変更									
22	日野町営駐車場の指定管理の指定									
23	日野町林業総合センターの指定管理									
24	土地改良事業の賦課基準、徴収方法									
25	日野町過疎地域自立促進計画の変更									
27	平成24年度日野町国民健康保険会計									
28	平成24年度日野町介護保険会計									
29	平成24年度日野町後期高齢者医療会計									
30	平成24年度日野町簡易水道会計									
31	平成24年度日野町公共下水道会計									
32	平成24年度日野町農業集落排水会計									
33	日野町議会議員政治倫理条例の一部改正									

タクシー補助券追加は 考えていない



中原 信男議員

答

考えていない

のではありませんか。

町長 タクシー補助事業については、平成24年度も引き続き実施するよう、当初予算に計上しています。

制度変更については、今のことろ考えていません。

観光振興について

議員 現在、金持神社、オシリドリ、たたらという日野町独自のブランドが加わり、この3本柱を今後、観光産業の目玉と位置付け発展させていく必要を感じます。その他、宝

仏山の登山、滝山公園、鵜の池公園など魅力のある場所があります。

情報発信、観光パンフレットの作成など、町長の考え方を伺います。

議員 鵜の池の自然を利用して、鵜の池の自然を利用した森林浴、森の保育、心と体の健康づくり、キャンプ場とアスレチックを一体化し、再整備する考えはありませんか。

議員 最後に、町民の更なる生活交通支援制度の向上、そして観光振興による町の活性化を期待しています。



残雪の鵜の池公園

議員 今回の一般質問で、2点につき、町長に質問いたしました。タクシー補助についてお尋ねします。昨年12月から、75歳以上で車の運転ができる方が補助対象とした制度に広げたことにより、利用者が大幅に増加したと聞いています。

この制度は、住民サービスの観点から、大変有効な制度であり、継続すべきと思いますが、施政方針を踏まえ、この制度で1点考えていただけあります。

大48回までとなっていますが、生活上、必要不可欠な利用状況の場合は、追加をしてあげるケースがあつてもよ

利用者が増えたタクシー

町長 観光情報の発信についての考え方を伺います。

議員 鵜の池の自然を利用して、鵜の池の自然を利用した森林浴、森の保育、心と体の健康づくり、キャンプ場とアスレチックを一体化し、再整備する考えはありませんか。

町長 具体的に今は言えませんが、検討してみるよう執行部の中で話をしています。

そこで、民の力をここでも発揮してもらい、行政としてしっかりと下支えをしていくことを、作成し

うと思っています。

議員 現在、金持神社、オシリドリ、たたらという日野町独自のブランドが加わり、この3本柱を今後、観光産業の目玉と位置付け発展させていく必要を感じます。その他、宝

仏山の登山、滝山公園、鵜の池公園など魅力のある場所があります。

情報発信、観光パンフレットの作成など、町長の考え方を伺います。

議員 鵜の池の自然を利用して、鵜の池の自然を利用した森林浴、森の保育、心と体の健康づくり、キャンプ場とアスレチックを一体化し、再整備する考えはありませんか。

町長 具体的に今は言えませんが、検討してみるよう執行部の中で話をしています。

そこで、民の力をここでも発揮してもらい、行政としてしっかりと下支えをしていくことを、作成し

うと思っています。

議員 現在、金持神社、オシリドリ、たたらという日野町独自のブランドが加わり、この3本柱を今後、観光産業の目玉と位置付け発展させていく必要を感じます。その他、宝

仏山の登山、滝山公園、鵜の池公園など魅力のある場所があります。

情報発信、観光パンフレットの作成など、町長の考え方を伺います。

議員 鵜の池の自然を利用して、鵜の池の自然を利用した森林浴、森の保育、心と体の健康づくり、キャンプ場とアスレチックを一体化し、再整備する考えはありませんか。

町長 具体的に今は言えませんが、検討してみるよう執行部の中で話をしています。

そこで、民の力をここでも発揮してもらい、行政としてしっかりと下支えをしていくことを、作成し

うと思っています。

議員 現在、金持神社、オシリドリ、たたらという日野町独自のブランドが加わり、この3本柱を今後、観光産業の目玉と位置付け発展させていく必要を感じます。その他、宝

仏山の登山、滝山公園、鵜の池公園など魅力のある場所があります。

情報発信、観光パンフレットの作成など、町長の考え方を伺います。

議員 鵜の池の自然を利用して、鵜の池の自然を利用した森林浴、森の保育、心と体の健康づくり、キャンプ場とアスレチックを一体化し、再整備する考えはありませんか。

町長 具体的に今は言えませんが、検討してみるよう執行部の中で話をしています。

そこで、民の力をここでも発揮してもらい、行政としてしっかりと下支えをしていくことを、作成し

うと思っています。



松本 利秋議員



元気で働くおばあちゃん(いろどりより掲載)

お年寄りの特色ある 生きがいづくりを

答 まず、外に出てもらいたい

議員 高齢者は、人口の約半分を占めており、その率も年々上昇しています。

そこで、高齢化対策（お年寄りの健康づくりと生きがいづくり）にもっと力を入れるべきであると思います。

町長 お年寄りの生きがいづくりと健康づくりの充実、推進をはかるために介護予防のほかほか教室、出前公民館、地域コミュニティ、また、高齢者訪問事業に取り組んでいます。

お年寄りが地域社会との接点を持つていただくことが重要であると考えますので、集落や自治会の声掛けなど、までは、共助・共生など地域のつながりが基本であると考えます。

議員 お年寄りの健康づくりと生きがいづくりについて、この事業は、おばあちゃん（平均年齢70歳）達の葉っぱビジネスで、年商2億6000万円を売り上げています。

議員 お年寄りの健康づくりと生きがいづくりについて、この事業は、おばあちゃん（平均年齢70歳）達の葉っぱビジネスで、年商2億6000万円を売り上げています。

視察の狙いは、この事業による効果で、①出番ができる自信が持て、元気な人が増えたこと。②町の活性化に繋っている。③医療費が県下で一番低く、全国平均より20万円程低く、寝たきりがない。このように生産活動で体力相応に汗を流し、現金収入が得られれば、お年寄りの健康づくりと生きがいづくりに繋がるものと確信しました。

町長 議員がおっしゃいますように、お年寄りが外に出るということだらうと思います。「ほかほか教室」もそうです。

職員の集落担当制を新設



話し合いがはずむ（小地域座談会風景）

タクシーブ助により日野病院への通院も増えています。

元気なまちづくり交付金を活用して、お年寄りに外に出てもらい社会の風に当つて、元気で生きがいを持って暮らしていただきたいと思います。

議員 私が以前から訴えてきました出かける行政として、職員の自治会等集落担当制的具体的な取り組みは。

町長 新年度から導入を進めることにしています。町内には、50の自治会がありますが、1戸から106戸と幅広く世帯が存在していますので、町民体育祭の組み分け（14地区）を単位として、3人から7人程度の職員を配置するよう考

人口増加に婚活を

答

環境づくりを町が下支え



小谷 博徳議員



高齢者世帯を訪問するひのボラネット

議員 24年度、就学前の子育て支援に254万円、23年度は、若者向け単身者住宅に4000万円を予算化し、若者定住に向けた施策がなされました。

次の施策を考えていますか。

課長 237世帯319人延べ780件一世帯あたり33回の訪問をしました。

相談された声は、各担当課など関係機関に連絡し、迅速に回答しています。

議員 タクシー利用の実態を分析してみると、初乗り基本料金前後の利用が非常に多いです。

町長 バス停が遠いとか、遠

も出来、先般赤ちゃん誕生のみ結婚し、一人でも多くの子供を産んでいただき、育てやすい環境を創るのが行政の役目であり、住民と一緒に支えてゆくことが大事と考えています。

議員 婚活パーティー等を仕掛けることが町の仕事と考えます。町長の考えは。

町長 町内で婚活いわゆる結婚活動に熱心に取り組んでいるスポーツクラブがあります。4組も結婚成就の実績です。

議員 過疎と高齢世帯の安心安全策として、高齢者見守り制度を導入、それなりの成果が出ています。

そこで出た声はどのような処理をされていますか。

課長 237世帯319人延べ780件一世帯あたり33回の訪問をしました。

大きな課題として検証し、把握しています。

次のステップと思っています。

議員 元気なまちづくり交付金は、元気な集落などが毎年使っているのが実態です。

高齢化した元気のない集落

との格差解消をどのように考えていますか。

町長 行政が人とお金を付けて支援すれば、元気になるというものではありません。

指導者づくりが大事と考えています。

まちづくり町民会議などを通して、各地域が元気になつていただく、まずはそういう考えでいます。

町長 次の展開は、町内で住み結婚し、一人でも多くの子供を産んでいただき、育てやすい環境を創るのが行政の役目であり、住民と一緒に支えてゆくことが大事と考えています。

も出来、先般赤ちゃん誕生の声も聞き喜んでいます。

婚活グループをみんなで支えてゆくことが大切であります。



婚活農業体験・サツマイモ植（里山元気塾）



中原 明議員



基金の適正規模は

答 最低10億円が必要

議員 財政調整、減債、地方振興の基金は、22年度は、8億1787万円、23年度11億220万円となつています。

県下の22年度財政調整基金

高は、鳥取市9億2883万円、

三朝町5億7153万円、

南部町5億8814万円、

伯耆町4億5539万円、

江府町6億4070万円、

日野町7億7009万円であ

り、県下でも低い方ではない

が、適正規模は、どのように考

えておられますか。

町長 平成16年・17年は、基

金から2億4000万円繰入

した予算編成がされた。こう

した財政確保の必要性があり、

考えておられますか。

基金は最低10億円は必要と考えます。

議員 鳥取市9億円、伯耆町4億円と人口規模から見ても、

低いとは思いません。

投資的経費、普通建設費は、

江府町8億8550万円、日

野町2億3462万円です。

これを投資的経費を増やす

ことにより、雇用と物流が活

性化し、地域経済に潤いを生

むのではないかでしょうか。

町長 他町は特定目的基金の

積立が多額であり、10億円は

多い額ではありません。

本町は、特定目的基金が県

下でも最低であります。旧焼

却場解体工事も補助金もなく

自主財源であり、町独自の施

策には、基金を持っていなく

てはなりません。

議員 安定的な財源確保を図

ると言われるが、歳入の6割

を占める地方交付税2.15%

増は甘いのではないか。江府

町6.4%減、大山町1.4%減、日

南町、日吉津村は昨年と同額

です。

課長 標準財政規模で、財政

運営のできるようにしたのが

交付税の根拠であります。

福祉事務所の開設に特別交

付税5000万円を見込んで

おり、別段甘いとは考えてい

新たな発想で事業展開とは

議員 新たな発想の下に事業

展開とは何か。新規目玉施策

は何でしょうか。

町長 財政健全化の目安とし

て、自立政策推進大綱を基に

政策を展開してきました。

24年度から、きらりと光る

まちづくりを目指し、新たな

発想の下に将来を見据えた事

業展開を図ります。

新規施策は、新地域防災計

画の策定、根雨・黒坂両小学校の校舎耐震補強工事、福祉

事務所の設置、旧焼却場の解

体、職員の集落担当制を設け

たいと考えています。

